

チャレンジプログラム

感想文

2023/08/06 ~ 2023/08/10

K.H(中学二年生)

グローバルサポートでは、チャレンジの大切さや主体性、感謝の心について学ぶことができました。アンケートで、最初は怖くて話しかけられなかったけど一度チャレンジして声をかけてみたら次からはだんだん話せるようになっていきました。このことから、チャレンジすることは大切と気づくことができました。何事も自分ごととして捉えるということはとても大切と感じました。

例えば、ゴミが落ちていた時にどうするかという話を聞いて、とても納得しました。

感謝する人と感謝しない人とでは差が大きいなと思いました。また「ありがとう」の対義語は「当たり前」と聞いて納得しました。これからは普段の生活で当たり前と思えるものを少なくしていきたいと思いました。

他に、成長するために必要なものや幸せになる秘訣について知れました。

これからは、今回学んだことを人生に活かしていきたいです。

M.O(中学二年生)

僕は一人で香港に行きました。最初は全然乗り気じゃなかったがこのプログラムを受けて、チャレンジの大切さを知った。

知らない人へのインタビュー。最初は怖くて話しかけられなかったけど、だんだん慣れてきて、ついにインタビュー成功数 13 回を記録した。これは、僕がインタビューに挑戦したからできたことだ。他にも知らない人に道を聞いたり、今までやってこなかったことにチャレンジをした。ここまでできたのはチャレンジしたからであって、もし諦めていたら、香港に来た意味が無かったと思いました。

今回のプログラムを通して学んだことは、失敗を恐れずに挑戦することが大事ということです。

Y.O(高校二年生)

僕はこのプログラムに参加して様々なことを学びました。

その中でも特に響いたことはまず、一つ一つの言葉の定義を知ることです。自分は単語に詳しいつもりでいました。しかし定義をアウトプットしようとしても上手くできません。それを受けて私が今までインプットしかしていなかったことを痛感しました。これからは、私の頭の中の言葉を言語化できるよう努めていきたいと思います。

もう一つ、僕は「ありがとうの対義語は何か」ということを聞かれた時答えられませんでした。これも先ほどのインプットしかしていなかったからです。わからないまま答えを聞いて、すごく納得しました。当たり前という答えを聞いて自分はどれだけ感謝を忘れていたのかと衝撃を受けました。これから自分の中の、当たり前という認識を変化させていきたいと思いました。

このように私はグローバルチャレンジで、自身の大きな失敗に気付いたり、他にも細々とした失敗をしました。だからこの失敗を学びに変え、行動していけたらいいなと思います。行動する過程でも失敗するでしょうが、そうやって失敗から何かを得続けて、これからも成長していきたいと思います。

G.U(高校二年生)

今回のプログラムを通して、自分は言葉が通じる事のありがたさを知り、今までなあなあにして三日坊主で終わっていた英語を戻ったら、毎日決めた時間に英語を勉強して4年後には留学し、さらに2年後から世界中の国々を一人で旅をしたいなと思いました。あと、色々な国での今の日本円の価値を調べて、過去の日本の円安の時と円高の時にどのような政策をしていたのか共通点を調べて少しでも多くの友達を参政党に引き込み日本を変える努力をいこうと思いました。

自分は歴史は好きですが、政府には為書とされる竹内文書やホツマツタエなどの世間一般でいう都市伝説の類の方が好きなのですが、ロスチャイルド家などの一部の富裕層の関わっている歴史などはほとんど知らないので、これから金融に足を突っ込むので歴史の授業で習うような歴史的な大事件の前にどのようにお金が動いていたのかを学び今の世界情勢でのお金の流れを見てこれからの未来を予想して対応できるようにしたいなと思いました。

今回のプログラムで皆さんと出会えたことが何を意味するのかは分かりませんが、自分にとって同級生のCさんが凄すぎて異次元の人のように感じると同時にとても良い人たちと出会えたんだと感じこの縁を大切に自分たちで日本を変えられるようになりたいと思いました。

どんな未来が待っているのか分かりませんが今回出会えたみんなですら少しでもより良い日本ができたなら幸いですと僕は思いました。

Y.I(高校二年生)

このグローバルチャレンジで一番印象に残ったのは、外国人アンケートです。初めは外国人に話しかけに行くのが怖かったり、失敗したら恥ずかしいなど心配ばかりでした。でも一回話しかけてみると、意外とみんな優しく話し、失敗するのが怖くなくなりました。アンケートとは別に日本が好きな外国人が日本のアニメやゲームなどの話をたくさんしてくれて、英語が全て聞き取れて理解できるわけじゃないので、自分がわかる単語で大体何を言っているかを当てて、自分が知っている単語を頑張って引っ張ってきて並べて返事や質問をしました。そのときに外国人と通じて、話せて、一緒に笑えたのがすごく嬉しかったし、良い思い出になりました。1回目のアンケートでは5人書いてもらうのに2時間以上かかってしまいましたが、2回目のアンケートでは1時間で75人以上に話しかけて、10人の人に答えてもらえました。中村さんに教えていただいたように、たった1日では英語がわかるようになるなどの能力は伸びないけれど、熱意や価値観が変わることです、すごく結果が変わって、自分が1日でこれだけ成長できたんだなということを知りやすくなるのができたので良かったです。また今回のグローバルチャレンジで自分の考えが変わったことがありました。今までは成功することは嬉しいことで失敗することは怖いことだと思っていました。でも成功は自信になり、失敗は学びになるという話を聞いて失敗をしてもそこで諦めずに、失敗から学び、一生懸命に行動することで、すごく良い材料となり、自分の成長に繋がるなと思いました。エジソンやライト兄弟の話を聞いて、自分ももっとポジティブに考えて生きていけたら良いなと思いました。

また、勉強ができるようになるため、お金もちになるための秘訣は単純で、今からでもできそうなことばかりだったので、実際に試してみたいです。

グローバルチャレンジでは自分の考えがガラッと変わったり、様々な人の考え方なども知れたり、香港と日本の違いも実際に感じる事ができて、5日間だったけれど、すごく成長ができたと思うし、とても楽しかったです。一人で香港に行くのも成功したので、それを自信に変えてまた、一人で海外にチャレンジしたいです。

K.Y(中学二年生)

僕がこのプログラムで学んだ事の中でも特に心に残ったことは、外国人のインタビューです。外国人のインタビューは、道を歩いている外国人に声をかけて、アンケートを取るというものでした。

僕は最初の方は知らない人に話しかけることが怖くてあまり積極的に声をかけれていなかったけど、何人かに声をかけているうちにだんだん慣れてきて、最後の方は前より積極的に声をかけられるようになっていました。インタビューをする時には、声をかけても無視したり、断られたりする方が多かったけど、アンケートに答えてくれる人はとても優しい人ばかりでした。僕がインタビューした人の人数は1日目が2人成功して、2日目は15人に話しかけて、2人が答えてくれました。全員の中では一番人数が少なかったけど、自分の中ではよくできた方だ。だからとても良かったです。

インタビューの結果は、人気な食べ物はラーメンと寿司が多くて、人気な有名人は木村拓哉さんと錦織選手が多かったです。他にも植松努さんの話や柳井正さんの話を話してもらったり、自分たちだけで駅の写真を撮りに行ったり、ご飯店さんに行ったりたくさんのお話をやらしていただきました。だからこれからもこの経験をいかして外国の人が道を尋ねてきたり、一人で外国に行くときに、案内したり、困らないようにしていこうと思います。

M.Y(高校一年生)

初め私は香港には留学で行くものだと思っていました。英語を学ぶために行くのだと。しかし現実とは違って世の中を学ぶために私は香港に行っていました。それこそ初めは「なぜわざわざ香港に行ってまで学ぶんだらう。英語を学ぶんじゃないならなんでここに来たんだらう」と思っていました。しかし現在私は香港に来て良かった。と心から思っています。ささいな所に日本との違いが香港は現れていました。看板や人の表情、交通手段など香港はネタの宝庫でした。その中でも一番びっくりしたのはホテル前の市場です。匂いがきつくて私はびっくりしました。しかも上から汁（エアコンっぽい所から垂れてるやつ）が落ちてきて日本じゃあり得なかったのでビビりました。市場では不衛生な環境で魚や肉を売っていて、「誰も買わないだらう」と思っていたら現地の人がたくさん買っていて「胃袋が強いんだなあ…」と思いました。私は匂いがマジでムリだったので口で息を吸っていたのですが、ここで暮らしている人は普通に鼻で息を吸っていて尊敬しました。

先程ここに来て良かったと思ったと書きましたが、なぜそれを思ったのかをまとめると、新しい価値観や考え方を知ることができたからです。それはここに来なくては決して知る事のできない物でした。あらためて私の中の世界の狭さを知ることができました。新しい価値観や考え方とは具体的に言うと、他人との接し方です。しかしこんな“全てわかりきってますよ。香港に来て全て理解しましたよ”みたいな文脈の書き方をしている私ですが、香港の人の多さはちゃんと知っています。“みんな違う価値観を持っている”という事を踏まえて私が考えた香港の人の他人の接し方は、「タイムイズマネー」ごとく割り切っている感じがしました。アンケートの時歩いている人に10人くらい聞いたんですけどみんな速度を落とさず「NO」と答えていてみんな心に余裕がないのかな…少しくらいゆっくりになったりしないのかな。と思いました。それに比べて休憩中のタバコ吸ってる人などは快く答えを書いてくださいました。休憩中の人とそうじゃない人の差がわかりやすく面白かったです。

最後に、中村さんのお話はマジで面白かったです。めっちゃ話をするのがお上手で、ずっと心に入ってきました。特に「目を合わせて話す」事をしててすごいと思いました。それこそ端っこの席の私とも何度も目が合ったのですごいな。と思いました。私は目を合わせて発表するのが苦手なので、中村さんみたいに話し上手になれるよう頑張ります。講習の内容は、マジで最高でした。ノートにたくさんメモったので、それを見ながら親に話してアウトプットしようかな。と思いました。「私が知りたかったけど誰も教えてくれなかった」事を全て言ってくれて様々な良い知識を得れたことに深い喜びを感じました。また中村さんの話を聞いてみたいととても思いました。本当に私の価値観が変わりました。来てよかった。と思いました。とても!!

短い時間の中でこのまとめを書いているので、まとめが苦手な私が書いたので余計読みづらかったと思いますが、ここまで読んでくださってありがとうございます。字が汚す

ぎてすみません。

ご縁があったらまた皆さんにお会いしたいと思います。このメンバーで過ごすのが残りわずかになってしまってとても寂しいです。次は妹が来るのでその際はぜひよろしくお願ひします。本当に楽しかったです。心からありがとうございました。

A.F(中学三年生)

私は今まで自分から人に話しかけるのがすごく苦手で嫌いだったけど、今回のプログラムで外国人にアンケートを取らなければならない状況になってすごく怖かった。でもやっぱり断られた時はめげそうになってしまった時もあったけど、その分アンケートに答えてくれた時は嬉しかったり少しだけ自信がついて私も成長できました。他にも場所を尋ねた時も、すごく優しく丁寧に教えてくれる人が多くて話しかけても冷たくされることはないからどんどん話しかけていいんだなって思いました。

中村さんの講習では今まで知らなかったことや新しい学びがあってとても勉強になりました。

みんなで振り返りを行った時には私は人前に立って話すのがすごく苦手で、話すときに緊張して言葉が出てこなくてもっと経験を積んで自信が持てるようになりたいです。

また私から行動することもあまり出来なかったので怖がらないで自分から積極的に行動できるようになりたいです。

M.K(高校二年生)

今回のグローバルチャレンジプログラムを通して学んだことは、日本と香港の価格の差です。香港は日本よりもはるかに物価が高いため、日本人がほとんどいなかったのが驚きました。また、はじめの外国人にインタビューをする際に初めは少し外国人の方に尋ねづらかったですが、徐々に慣れてきて、コミュニケーションの大切さを本当に気づかせていただきました。日本に帰ってもたくさんの方とコミュニケーション力と人脈を広げていきたいです。僕は英語が苦手な外国人に尋ねられるかどうか不安な部分もありましたが、気合いでアンケートに答えて頂くことができたので良かったです。そして今回のグローバルチャレンジプログラムの中村さんの講義で人間が成長するのに欠かせない要素である「チャレンジ」「主体性」「感謝の心」の三要素を意識してこれから生活していきたいです。その他にも「感謝の心」「環境のせいにはしない」「信用と信頼の違い」「有難うの本当の意味」などの様々なことについて教えていただきました。僕は今までコミュニケーションが本当に苦手な仲間たちとすら、コミュニケーションが取れるか不安でしたがなんとかみんなと仲良く香港でチャレンジできたので良かったです。そして、課題作文でも書かせて頂きましたが、現在、高校三年生で進路について本当に考えたくてこのグローバルチャレンジプログラムで考え方を広げようと思い参加させて頂きました。おかげで進路について考える一つのきっかけにできました。本当に良かったです。これから決意することは「環境のせいにはしない」ということです。今まで、勉強が出来なかったことや挑戦出来なかった事を親のせいにしていましたがこれからは、環境のせいにはせずに、むしろ生きていられることに感謝して、過去は変えられませんが未来は変えられるので、自分の力で未来を変えていけるようにたくさんの方に挑戦して行きたいです。

C.H(高校二年生)

5日間、色々なサポートや、知らない事をたくさん教えてくれてありがとうございます。ここでは、香港のチャレンジプログラムで学んだこと、その学びや経験を活かしこれから何をするのかを書いていきます。

このプログラムでは主に3つの学びがありました。

一つ目は、香港と日本の文化や政策、経済や都市の発展具合の違いなどを学びました。文化では、そもそも育てられる時に日本で教えられることと、他の国（今回は香港）で教えられることに差があり、その教育の違いが、価値観や人の成長速度に大きな影響もたらすのだと知りました。また香港各地で行われている工事の規模のでかさ、各店における物価のあがり具合、多くの巨大ビルが建っている都市の発展具合、月の家賃など様々なことで日本の経済が、いかに衰退しているかを思い知らされました。そしてそんな状況の日本に生まれた自分は、今の状況を把握し自分の生き方を決めすぐに行動する必要があると感じました。

二つ目は、自分の人生の中で何が大切で何を目指しその目的や生き方を言語化することの大切さを学びました。

「目的と目標の定義を見誤ると、自分の優先順位が分からず、何をしたいのかが分からなくなる。」

自分の言葉を少し足しましたが、この言葉を聞いた時に、改めて自分の人生を良くしていく、自分が成長していくために「」の言葉が必要だと再認識できました。自分が何のために勉強するのか、何のために働くのか、何のために成長したいのかの「何のために」を自分の中で確立しそこに向かっていくために必要なことを逆算し計画をつくるのが大切だと思っています。またそれが人の成長速度やモチベーションを上げることにつながると思います。

三つ目は、不快領域に入りチャレンジすることです。街で最初にインタビューする時は英語に困るというよりも話しかけることに戸惑っていました。それでも失敗をプラスのことと捉えチャレンジしていくことにより、最後には、何のためらいも作らず、話しかけることができました。このレベルのチャレンジを日頃からこなしていくことが、自分の成長を早める方法だと知りました。

最後にこれからのことです。

私は、中村さんは知ってると思いますが加賀塾をぬけ横浜に帰っています。そしてその帰った先で新しく若者（同世代）が集まるコミュニティを作ろうとしています。詳細は今書きませんが、このチャレンジは自分の人生で成長していくためにとても大切なことだと思っています。この香港で学んだ三つのことを意識して、ガンガンチャレンジしていこうと思っています。構想や準備が整ってきたら、また今度話を聞いて欲しいです。

M.T(高校二年生)

今回初めてグローバルチャレンジプログラムで香港にきてたくさんの驚きと発見、そして疑問もあったし、できました。特に最初はホームレスかと思った家政婦の人たちなどです。さすが、お金がたくさん動く街だなと思ったのと同時に日本との違いにドキドキしました。

講義を聞いて一番印象に残っていることは目的と目標の話です。私は自分に甘くしてしまうことが多くて目標は大きな目的を達成するための過程なのに簡単な目標を達成できたからいいやと満足してしまうことが多いんです。それを今回指摘されてやっぱり自分に甘えてはいけないと思ったし、快適領域でぬくぬくとしているだけでは何も成長できないと気づかされました。また、当たり前なことだけど快適領域から脱出してチャレンジすると成功体験からは自信が、失敗体験からは学びのどちらかが必ず得られるという言葉に救われました。考えてみたら失敗を恐れる必要は全くないのにいつからか、失敗してしまうことを怖がってしまってチャレンジする心を失っていたことを思い出さることができました。みんなと将来の話題になった時結構しっかりと考えている人が多くて、自分の夢に向かって努力している姿にとっても衝撃を受けたし、良い刺激になりました。私も頑張りたいと思ったし、必ず叶える！と意気込んでいるところを見て将来のために努力する必死さが大切なんだなと学びました。

「アウトプット」を追求する話で「的外れでも疑問をしなければその場にいた意味がない」と話されていて私はぼーと話を聞いてしまうところがあるなと反省しました。

今回、香港について疑問に思ったことをすぐに質問できたことで、アウトプットして自分のものにしていく楽しさを知れました。このプロジェクトを受けるまで人に質問をして、嫌がられたらどうしようとか、おかしいことを言ってしまったらどうしようと思っていたけど、これからはネガティブに考えず、根本から変わるのはすぐには難しいと思うけど月1%からでも一つ一つ積み重ねて行きたいです。